

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2001-340290 (P2001-340290A)

【公開日】平成 13 年 12 月 11 日 (2001.12.11)

【出願番号】特願 2000-165563 (P2000-165563)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 1/04

G 0 2 B 23/24

H 0 4 N 5/335

【F I】

A 6 1 B 1/04 3 6 2 J

A 6 1 B 1/04 3 7 2

G 0 2 B 23/24 B

H 0 4 N 5/335 Z

H 0 4 N 5/335 F

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 14 日 (2004.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

図 5 は伝搬遅延時間 T_d' が、ピクセルクロック期間 T_p よりも T_d ($T_d < T_p$) 長いとき、すなわち $T_d' = T_p + T_d$ のときに CDS 回路 26 に入力される映像信号 V_{S0} と、この映像信号をサンプリングするための CDS 制御パルスを表している。映像信号 S_1' はリセットゲートクロック RG_0 及び伝搬遅延時間 T_d' だけ遅れた映像信号であり、パルス信号 S_2' 、 S_3' は、それぞれ映像信号 S_1' に対するクランプパルス CP 及びサンプルホールドパルス SH である。パルス信号 S_2' は t_1' 時間遅れて出力され、パルス信号 S_3' は t_2' 時間遅れて出力される。ここで、 $t_1' = T_d' + T_c$ であり、 $t_2' = T_d' + T_s$ であるので、 $t_1' = T_p + T_d + T_c$ 、 $t_2' = T_p + T_d + T_s$ となる。クランプパルス CP 及びサンプルホールドパルス SH は周期 T_p の周期的なパルス信号なので、期間 t_1' 、 t_2' 遅延されたクランプパルス CP 及びサンプルホールドパルス SH は、 $T_d + T_c$ 、 $T_d + T_s$ 遅延されたパルス信号にそれぞれ等しい。したがって、伝搬遅延時間 T_d' がピクセルクロック期間 T_p よりも T_d 時間長いときには、 T_d ($< T_p$) を伝搬遅延時間として、これに対応するスイッチをオン状態に設定すればよい。すなわち、 T_d が 2 カウントに対応するときには、スイッチ A_6 とスイッチ B_1 をオン状態に設定すれば良い。このとき、パルス信号 S_5' 、 S_4' は映像信号 S_1' の 1 つ前の周期の映像信号に対するクランプパルス及びサンプルホールドパルスとなり、パルス信号 S_6' は 2 周期前の映像信号に対するサンプルホールドパルスとなる。なお、伝搬遅延時間が 2 周期 ($2T_p$) よりも長いときも同様である。